

CONTENTS

【特集】平成22年度教育予算主要事業…… 2～3
 どのように変わるの？新学習指導要領…………… 4
 【連載】ココが知りたい！新学習指導要領 …… 5
 第1回小学校外国語活動
 「第二次新宿区子ども読書活動推進計画」
 を進めています…………… 6
 麻しん・風しん(MR)の予防接種…………… 6
 【連載】学校わくわく情報局…………… 7
 落合第二小学校・西戸山第二中学校
 平成21年度幼児・児童・生徒表彰者等発表 …… 8
 教育委員会の動き…………… 8

しんじゅくの教育の Vol.86

編集・発行 新宿区教育委員会 新宿区歌舞伎町1-4-1
☎3209-1111

<http://www.city.shinjuku.lg.jp/>

再生紙を使用しています

新宿区で
2園目となる

認定こども園 あいじつ子ども園がオープン



平成17年9月から、新宿区立愛日幼稚園、中町保育園が幼保連携園となり、平成19年度からは、4・5歳児の幼保合同保育を実施してきました。その歴史のバトンを受け継ぎ、平成22年4月から認定こども園「新宿区立あいじつ子ども園」としてリニューアルオープンしました。隣接する新宿区立愛日小学校との交流・連携・接続を図り、0歳児から小学校就学を見据えた一貫した保育・教育の充実に努めていきます。

問合せ：あいじつ子ども園(3266)01889



子ども園・保護者の就労等の有無にかかわらず、就学前の子どもに同じ環境の下で保育・教育を行うとともに、地域の子育て家庭への支援を一体的に提供する施設



3枚のハートの葉っぱは、子どもと保護者と先生、園と家庭と地域の3者がともという意味が込められています。周りのピンクの丸は、明るく輝く太陽の意味が込められています。

● 確かな学力をはぐくみます!

確かな学力の育成【1億7,848万円】

少人数指導、習熟度別指導などきめ細かな指導を行うため確かな学力推進員（区費講師）を小・中学校各校へ1～2人配置します。また若手教員の育成のため授業改善推進員（退職校長）を派遣します。

サイエンス・プログラムの推進【1,201万円】

小学校への理科実験名人の派遣を年1回から2回に拡充するほか、早稲田大学との提携による新宿版SPP事業*を全中学校で年1回実施します。また、教育センターで科学教室を開催するなど、子どもの理科に関する興味・関心を育成します。

*SPP事業（サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト事業の略）

学校や大学、研究機関などの連携により、子どもたちの理科等に関する興味関心と知的探究心を高めることを目的とした事業。



学級担任と確かな学力推進員による
数学科ティームティーチングの授業（西早稲田中）

● 放課後等学習支援を実施します!

【2,424万円】



放課後等を活用し、学習内容の習得が十分でない子どもに対し、一人ひとりの学習到達状況に応じたきめ細かな指導を行います。

中学校（全学年）に加え、22年度から小学校（対象3年生以上）でもスタートします。

● 地域協働学校を推進します! 【270万円】

地域に開かれ、地域に支えられる学校づくりを目指し、指定校に、地域協働学校運営協議会を設置します。

指定校：四谷中学校（22年度設置）

準備校：小学校3校（23年度指定に向け準備）

新宿区では、地域協働学校運営協議会を設置する学校を「地域協働学校」と称しています。



● 学校施設を整備します!

新宿西戸山中学校の建設(第3年度)【25億4,899万円】

西戸山中学校と西戸山第二中学校を統合し、旧西戸山中学校校地に、新校舎を建設します。(23年度開校)

小・中学校施設の計画修繕【4億7,488万円】

安心して学べる学校施設を目指し、屋上防水、外壁・内部改修、校庭整備等を進めます。

学校施設(特別教室等)の空調化整備【1億9,729万円】

特別教室やPTA・地域の活動に使用する会議室等の空調化を進めます。



新宿西戸山中学校完成イメージ図

平成
22年度 教育予

区教育委員会では、「新宿区教育ビ
取り組みを進めています。そのため
8千円で、区一般会計歳出予算に占め
となっています。平成22年度に実施す



●子ども園化を推進します!【4億2,621万円】

0歳から小学校就学前までの子どもの成長と発達を見据えた保育・幼児教育を行う子ども園の整備を進めています。

22年度、新宿区で2園目となる「あいじつ子ども園」を開設、さらに23年度、「(仮称)西新宿子ども園」開設に向けた建設工事等を行います。



(仮称)西新宿子ども園完成イメージ図

算主要事業

「ビジョン」で掲げた目標達成に向け着実な平成22年度教育予算は、152億5,669万円の割合は11.0%(対前年度比1ポイント増)の主な事業を紹介します。

合せ 教育政策課管理係 (5273) 3070

...

●学校の情報化を推進します!

【8億962万円】

全小・中学校の教室の校内LAN整備を行い、どの教室でも実物投影機・プロジェクタ・インターネット等を活用した「わかる授業」を実現。全ての教室を「ICT新宿モデル」に変えていきます。

また、21年度に導入した校務支援システムの本格実施により校務の効率化を図り、教員が子どもと向き合う時間を確保します。



ICTを活用した授業(四谷第六小)



●情緒障害等通級指導学級を充実します!【1,100万円】

発達障害等で通級指導が必要な児童・生徒への支援の充実を進めています。22年度、中学校で2校目となる情緒障害等通級指導学級を牛込第三中学校に開設、さらに23年度、小学校で3校目となる落合第一小学校開設に向けた設置工事等を行います。

現在の開設校と開設予定校

小学校：天神小学校・戸塚第二小学校 / 落合第一小学校(23年度開設)

中学校：落合第二中学校 / 牛込第三中学校(22年度開設)

●図書館機能を充実します!

新しい中央図書館のあり方の検討【699万円】

中央図書館の役割や機能を見直し、IT社会に対応した情報センターとしての機能強化を検討します。22年度に基本計画を策定します。

子ども読書活動の推進【2,079万円】

子どもたちが自主的に読書活動を行うことができるように、学校図書館への図書館司書の派遣(4人)や団体貸出用の児童図書の実績(年間購入冊数4,500冊)など、読書環境を整備します。



新中央図書館等基本計画策定委員会の様子

どのように変わるの？

新学習指導要領



文部科学省は、平成20年3月に小学校・中学校学習指導要領及び幼稚園教育要領の改訂を行いました。これに伴い、各学校(園)で教える内容や、授業時数などが変わります。区教育委員会では現在、新しい学習指導要領に対応するための様々な取り組みを進めています。

ここで、改訂となった学習指導要領の改善ポイントを整理し、わかりやすく紹介します。

問合せ 教育指導課 (5273)3084

学習指導要領とは？

学習指導要領とは、全国どの学校で教育を受けても、一定の教育水準を確保するために、各教科等の目標や内容などを文部科学省が定めているもので、教科書や学校での指導のもとになるものです。

これに基づいて、各学校では、いつ、何を、どのように指導していくかという教育計画を立てます。

幼稚園は、学習指導要領ではなく、幼稚園教育要領が文部科学省より示されています。

新学習指導要領の基本的な考え方

- ① 子どもたちの「生きる力」(知・徳・体のバランスのとれた力)をはぐくむという教育の理念は変わりません。
- ② 学力の重要な3つの要素(知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学習に取り組む意欲)を育成します。
- ③ 道徳教育や体育などの充実により、豊かな心と健やかな体を育成します。

新学習指導要領 実施スケジュール(概要)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
幼稚園	告示 周知・徹底	全面実施				
小学校	告示 周知・徹底	先行実施	総則等 算数、理科	全面実施		
中学校	告示 周知・徹底	先行実施	総則等 数学、理科	全面実施		

主な改善事項

授業時数の増加

【小学校】

- 国語、社会、算数、理科、体育の授業時数を6年間で約1割増加します。
- 週当たりの授業時数を1・2年生で週2時間、3～6年生で週1時間増加します。

【中学校】

- 国語、社会、数学、理科、保健体育、外国語の授業時数を3年間で約1割増加します。
- 週当たりの授業時数を各学年で週1時間増加します。

言語力の育成

- 国語をはじめ各教科等で、記録、説明、批評などの言語を使った活動を行い、すべての教科等で言語の力をはぐくみます。

理数教育の充実

- 算数・数学、理科の授業時数を増加し、観察・実験や反復学習などを充実します。
- 国際的に通用するカリキュラムにするなどの観点から、教える内容を充実します。

外国語教育の充実

- 小学校5・6年生で、「外国語(英語)活動」を導入します。

伝統や文化に関する教育の充実

新しい時代に対応した教育の充実

- たとえば、環境教育、食育、情報教育、特別支援教育などです。

連載 ココが知りたい! 新学習指導要領 第1回 小学校外国語活動

平成23年度から全面実施される小学校外国語(英語)活動を、全区立小学校で平成21年度から先行して実施しています。連載「ココが知りたい!新学習指導要領」第1回目は、その取り組みを紹介します。

問合せ 教育指導課 (5273)3084

小学校外国語(英語)活動のねらい

小学校外国語活動(以下、外国語活動を「英語活動」という)は、中学校段階の文法等の外国語教育(以下、外国語教育を「英語教育」という)を単に前倒しで学ぶのではありません。あくまでも「聞くこと」「話すこと」の英語を通じて、①言語や文化について体験的な理解を深める、②積極的にコミュニケーションをはかろうとする態度を育成する、③英語の音声や基本的な表現に慣れ親しませることをねらいとしています。

小学校英語活動では「英語が通じた」「わかった」などコミュニケーションの楽しさを実際に体験することが大切となります。

実際の活動の様子

「ABCDEFGHIJK」と体全体を使いながら元気よくリズムカルにアルファベツ



積極的にALTにも話しかけにくい戸塚第三小学校の子どもたち

授業を行った大場明子先生は、子どもが楽しいと感じるために、ただ基本的な表現や語彙を繰り返すのではなく、外国人英語教育指導員(ALT)や友だちなどの様々な相手と思いを伝え合う、意味のある活動をするよう心がけているといいます。

トの歌を歌ったら、次は友だちと英語でゲーム。「What letter do you like?」聞いて自分を選んだアルファベットと同じだったら、1ポイント。結果を英語で発表し、続いて先ほどとは違う英語の歌を歌ったら、再び教室全体で行う英語活動へ。

これは戸塚第三小学校5年生の2月のある日の英語活動の様子です。驚くほど、リズムカルにテンポよく授業が進んでいきます。子どもたちは次にどんな活動をするのかをもらさず聞くために、先生の話す英語に食い入るように聞き入り、わくわくした表情で次の活動を待っています。

5・6年生の全英語活動に外国人英語教育指導員(ALT)を配置

区教育委員会では、平成21年度より、5・6年生の年間35時間の英語活動を先行実施し、そのためのALTを配置し、子どもたちが「生きた英語」に触れる機会を増やすよう努めています。

ALTは、授業を中心に進めていく担任の先生と連携をとりながら、子どもたちと英語でコミュニケーションを図ります。ネイティブスピーカーであるALTの発音を耳にし、例えば日本語の「ハンバーガー」と英語の「hamburger」の発音の違いに驚く子どもや、話しかけたことが通じ喜ぶ子どもがいることなどから、その効果はとても大きいといえます。

小学校英語活動から中学校英語教育へのかけし

小学校英語活動では、「聞くこと」「話すこと」の音声面を主に、繰り返し、語彙や表現に親しむ内容ですが、中学校英語教育では、「聞くこと」「話すこと」に加え、「読むこと」「書くこと」の4つの技能を、バランスよく育成することが、新学習指導要領で定められています。そこで、子どもたちが小学校で身に付けたことを中学校でいかに伸ばしていくことができるかが、課題となります。

区教育委員会では、小学校から中学校へ英語学習を円滑につなげていく視点と、区立学校として基本となる共通の学習内容を示すため、区独自に『新宿区立小中英語連携カリキュラム』を作成しました。また、

新宿区立小中英語連携カリキュラム

小学校編では、各学校での活動に一貫性をもたせるため、新宿区の小学校の英語活動のスタンダードな内容を例示しています。小学校の先生の英語活動の指針となるとともに、中学校の教員が小学校英語活動を知るための手がかりにもなります。



中学校編では、中学校での入門期の10時間の授業を効果的に行うための指導計画を掲載しています。子どもたちが、小学校英語活動で慣れ親しんだ表現・語彙を、中学校での学習に生かし体系的に身に付けていけるよう連続性を持った指導を行うことを狙いとしており、このカリキュラムの大きな特色となっています。

文部科学省作成の英語ノートに沿い、教員とALTが連携を深め、より効果的な活動を行うため『英語ノート1実践事例集』も作成し、どちらも教員に配付しました。

この他にも、教員の指導力の向上を図るため指導法研修会を開催、また小中教員同士の連携を深めるなど、平成23年度の全面実施に向け、充実した英語活動を行えるよう、今後ともさらに取り組みを進めていきます。

図書館 からの お知らせ

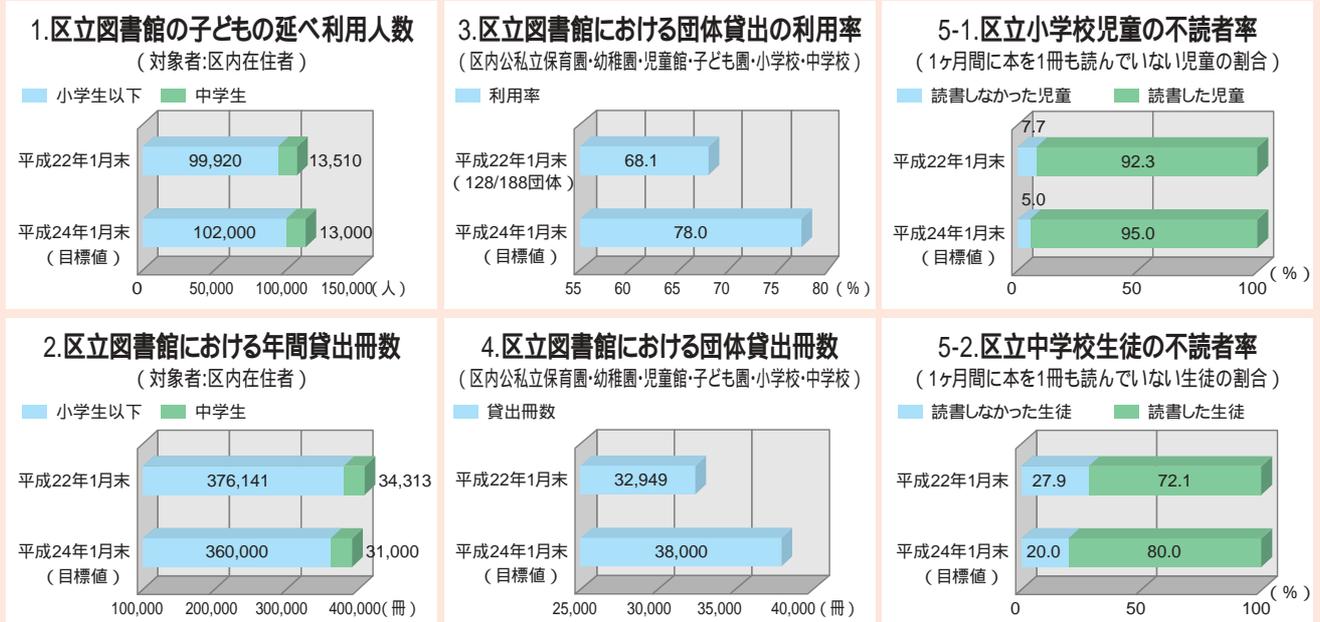
～子どもたちと多くの本との出会いのために～

「第二次 新宿区子ども読書活動推進計画」を進めています

3月26日に「新宿区子ども読書活動推進会議」（座長・秋田喜代美 東京大学大学院教授）が開催され、「第二次新宿区子ども読書活動推進計画」における数値目標の平成21年度（平成21年2月～平成22年1月）の達成状況が公表されました。

数値目標を定めた評価指標や平成21年度の達成状況については下表のとおりです。

「第二次 新宿区子ども読書活動推進計画」の進捗状況



推進計画の主な事業

子どもたちにとって、読書がより身近になり、また大切な本との出会いが生まれるよう、右記の計画事業を進めています。また平成22年度は「中学生・高校生による図書館サポーター活動」の検討も開始します。

- 絵本でふれあう子育て支援
3～4か月児・3歳児に絵本の配付、健診会場での読み聞かせを実施
- 親力向上のための講演会・読書塾の開催
- 区立小中学校への図書館司書の派遣

問合せ こども図書館(3364)1421

麻しん風しん(MR)の 予防接種 を受けましょう!



麻しん(はしか)は非常に強い感染力を持っています。発病すると高熱が続き、時には重い後遺症が残る重大な感染症です。

今年度の接種対象者は右表のとおりです。平成24年度までは中学1年生・高校3年生の年齢の方も対象に追加されています。接種対象者であれば、指定医療機関にて無料で接種できます。無料で接種するには、新宿区発行の予診票が必要ですので、お手元がない場合はお問い合わせください。接種期間を過ぎると、費用が自己負担になります。この機会に忘れずに接種しましょう。

問合せ 保健予防課予防係(5273)3859
又は各保健センターへ

平成22年度に対象となる方
(1歳・小学校入学前・中1・高3の年齢の方)

種類	対象者 接種期間
麻しん風しん(MR)1期	生後12か月～24か月未満の方 生後12か月～24か月未満の間
麻しん風しん(MR)2期	平成16年4月2日～17年4月1日生まれ (保育園・幼稚園年長児相当年齢)の方 平成23年3月31日まで
麻しん風しん(MR)3期	平成9年4月2日～10年4月1日生まれ (中学1年生相当年齢)の方 平成23年3月31日まで
麻しん風しん(MR)4期	平成4年4月2日～5年4月1日生まれ (高校3年生相当年齢)の方 平成23年3月31日まで

任意麻しん予防接種

下記に該当される方で、これまで麻しんにかかったことの無い方は無料で麻しんの予防接種を受けることができます。接種期間は平成23年3月31日までです。接種を希望する方はお問い合わせください。2歳～高校2年生で麻しんの予防接種を1回も受けていない方
小学1～2年生で麻しんの予防接種を2回受けていない方

落合第二小学校

繰り返し学習で
基礎学力アップ
～放課後算数教室～



落二ルームで算数教室

3月2日、落合第一小学校の落二ルームで、「放課後算数教室」が行われました。毎週火曜日に開かれる1年生の算数教室。30人以上の子どもたちが参加しました。課題のプリントが配られると、子どもたちは次々と問題を解いていきます。分からない問題があると、先生に聞いたり、周りの友だちと教えあったりする場面も見られました。

当校では、毎日放課後に算数教室を行っています。曜日ごとに学年が指定されていて子どもたちは決まった曜日に教室に通います。担当は、確かな学力推進員の横山せい子先生。課題作成や保護者配付用の「算数教室だより」作成なども横山先生が行っています。

「教室は登録制ですが、特に低学年には人気があり、1～3年生はほとんどが登録しています」と加藤紀美子校長。平成19年度から実施していた当教室を、平成21年度から日程を調整して全学年が週2回行えるように拡充



早い子、ていねいで正確な子
自分のペースで取り組もう

しました。「個人差が出やすい算数は、繰り返し行うことで基礎的な学習が定着します。繰り返し挑戦する場を子どもたちに与えることが学校の重要な仕事です」と成果を語っていました。

西戸山第二中学校

源平戦の勝利の
ゆくえは!?
～全学年合同
「百人一首大会」～



全学年で百人一首大会

静かな体育館に、歌を読む声が響きます。西戸山第二中学校で、3月5日に、今年で11回目となる百人一首大会が開催されました。

当校は平成21年度に2～3年生の2学年となったため、今回の大会では、学年対抗になるよう組み合わせられているとのこと。各学年を2～3人の源氏班と平家班に分け、2年生源氏班対3年生平家班、2年生平家班対3年生源氏班で競い合います。

勝負が白熱するにしたがい、札を取るときには「はい!」という声が上がります。狙っていた札を相手に取られ、がっかりする生徒もいました。この熱戦の結果は、源氏班の勝利となりました。また、栄えある個人戦の第1位の生徒は、40枚もの札を取っていました。

校長先生は、「十八番の札を持っている生徒にはかなわなかったと思います。1枚でも十八番の札を増やすように

源平戦の様子

してください。そして、この大会を、日本の古典に親しむ良い機会にしてほしい」と大会を締めくくりました。大会の後には、PTAからおしるこが振舞われ、生徒たちはおいしそうにいただいています。

アトムを新宿区の特別児童に任命!



©手塚プロダクション

2010年4月7日の誕生日で7歳になったアトムが、「新宿区特別児童」として、4月6日に戸塚第三小学校の入学式に参加しました。この企画は、アトムが誕生した高田馬場地域にある戸塚第三小学校のPTAの発案がきっかけで実現しました。

アトムは今後、新宿区の行事に小学生と一緒に参加するなど、子どもたちと地域や社会のことを学んでいきます。アトムとともに学ぶことで、子どもたちが地域社会への関心を高め、知識を深めてもらいたいと考えています。

問合せ 教育政策課(5273)3074

平成
21
年度

新宿区教育委員会幼児・児童・生徒表彰者等発表

平成22年3月16日(火)に「平成21年度新宿区教育委員会幼児・児童・生徒表彰」を行いました。
受賞されたみなさん、おめでとうございます。

団体

牛込第三中学校吹奏楽部

第49回 東京都中学校吹奏楽コンクール 金賞
第43回 東京都中学校アンサンブルコンテスト
管楽八重奏 銀賞



個人・中学生

新宿中学校 おの 小野寺 さくら(3年)
第9回 全国障害者スポーツ大会「トキめき新潟大会」
バレーボール競技 知的障害者の部 女子優勝

新宿中学校 こじま 小島 もな 百那(3年)
第55回 青少年読書感想文東京都コンクール 最優秀賞
第55回 青少年読書感想文全国コンクール中学校の部 入選

西戸山中学校 まきの 牧野 さえ 紗依(2年)
平成21年度 東京都産業教育振興会作文コンクール
中学校の部 最優秀賞

西戸山中学校 はら 原 かたる 語(3年)
平成20年度「実用数学技能検定」準1級合格
文部科学大臣賞受賞

西戸山中学校 ししど 完戸 さゆり 小百合(3年)
第1回「私のせかい・自分のメリーとは」絵画コンテスト
青年部門 最優秀賞

西新宿中学校 たけむら 竹村 えりな 絵梨奈(3年)
平成21年度 中学生の「税についての作文」
財団法人大蔵財務協会理事長賞

問合せ 教育指導課 (5273)3084

教育委員会の動き

問合せ 教育政策課管理係 (5273)3070

教育委員会について

教育委員会は、区議会の同意を得て区長が任命した6名の委員で構成する合議制の執行機関です。
会議は、毎月1回第1金曜日(都合により変更あり)に定例会を、また、必要に応じて臨時会を開催しています。

教育委員会はどなたでも傍聴できます

会議の日時、場所、議案、傍聴の方法について、区のホームページに掲載しています。

【教育委員会開催状況】

平成22年2月5日～平成22年3月26日
定例会2回開催、臨時会1回開催

【主な議案】

平成22年度新宿区一般会計予算 教育費
新宿区立学校における地域協働学校運営協議会に関する規則
新宿区職員定数条例の一部を改正する条例
新宿区教育委員会会議規則の一部を改正する規則

【主な報告事項】

平成22年度新入学学校選択制度補欠登録者の繰上げについて
学校給食調理業務委託事業者の選定結果について
小・中学校における土曜日の授業の実施について
学校イントラネットシステム構築の進捗状況について
新宿区特別児童「アトム」の区立小学校入学等について
平成23年度使用教科用図書採択について

★本紙は新聞(朝日・産経・東京・日本経済・毎日・読売)折り込みで配布しているほか、主な区立施設などに置いています。新聞を購読していない等で郵送をご希望される場合や、本紙に関するお問合せなどは、教育政策課企画調整係までご連絡下さい。 教育政策課企画調整係 ☎(5273)3074